

市町村名		国頭村				
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-① スポーツコンベンション観光振興事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア	
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成25～令和5年度		スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	
事業内容	県内外の合宿チームの受入、中体連・国頭郡大会等の大会受入のため、陸上競技場の第3種公認対応備品、バッティングゲージ、野球場・陸上競技場の天然芝の管理、公園内の環境整備に必要なトラクターの整備を実施し、施設利用者へ快適に利用できる環境整備、サービスの向上に努めることができた。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		(a) 当初予算額	15,605	156,308	113,200	287,702
	(b) 予算現額	15,605	138,008	118,756	277,250	32,899
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 18,300	5,556	▲ 10,452	▲ 3,110
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	15,605	138,008	118,756	277,250	32,899
	B. 執行済額	14,049	135,115	103,839	277,250	32,899
	うち交付金充当額	11,238	108,092	83,071	221,438	26,319
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	90.0%	97.9%	87.4%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明	事業については、計画通り完了した。 指名競争入札による入札残により、当初予算から減額となったが、早期発注により、執行率は100%となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況				
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	第3種公認に対応した陸上競技用備品の整備	目標	()	()	()	(備品整備)
		実績				備品整備の完了
	野球場バッティングゲージの整備	目標	()	()	()	(整備)
		実績				整備完了
	サッカーゴールの整備	目標	()	()	()	(整備)
		実績				整備完了
	施設整備用トラクターの整備	目標	()	()	()	(整備)
		実績				整備完了
テニスコート備品整備	目標	()	()	()	(備品整備)	
	実績				備品整備の完了	
トレーニング備品整備	目標	()	()	()	(備品整備)	
	実績				備品整備の完了	
達成状況説明	・備品整備が本年度の事業内容であったが、6月までに、陸上競技場第3種公認備品及びトラクター整備を発注できたことから、年内に納品することができ、施設管理の効率化が図られた。 ・その他の備品についても、早期発注に努め、年内に納品することができ、合宿シーズンに間に合ったため、サービス向上を図ることができた。					

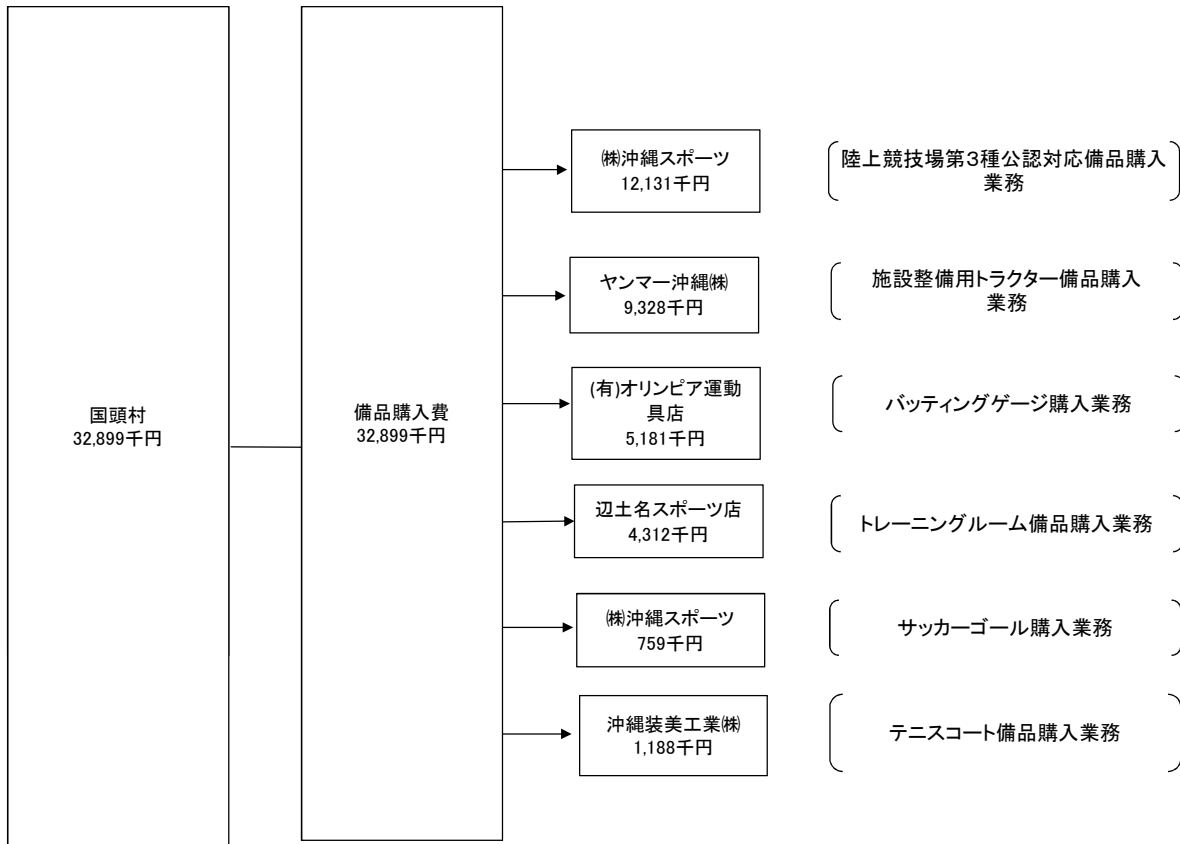
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (R5年度)
			()	()	()	(備品購入の完了)	()
第3種公認に対応した陸上競技用備品の購入	目標	()	()	()	(備品購入の完了)	()	
	実績				備品購入の完了		
野球場バッテイングゲージの購入	目標	()	()	()	(備品購入の完了)	()	
	実績				備品購入の完了		
サッカーゴールの購入	目標	()	()	()	(備品購入の完了)	()	
	実績				備品購入の完了		
施設整備用トラクターの購入	目標	()	()	()	(備品購入の完了)	()	
	実績				備品購入の完了		
テニスコート備品の購入	目標	()	()	()	(備品購入の完了)	()	
	実績				備品購入の完了		
トレーニング備品の購入	目標	()	()	()	(備品購入の完了)	()	
	実績				備品購入の完了		
【R5成果目標】 合宿誘致件数:56件以上	目標	()	()	()	()	()	(56件以上)
	実績						
進捗状況説明	<p>・予定していた備品購入については、年内に納品することができ、合宿シーズンに支障をきたすことなく、利用者のサービス向上に努めることができました。</p> <p>・今シーズンの合宿誘致件数が、47件と昨年度に比べ増加したが、目標誘致件数の56件に向け、陸上競技チームを中心に合宿誘致に努めていく。</p>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・新型コロナの感染拡大が落ち着きを見せ始めたことから、徐々にこれまで合宿を見合わせていたチームが合宿を実施する動きが見えてきた。また、新規チームの合宿に向けた問い合わせが増えている。</p>	<p>・これまで毎年合宿を実施しているチームだけでなく、陸上競技(特に投てき)チームへの営業活動を積極的にを行い合宿件数を増やしていく必要がある。</p> <p>・11月から3月までの冬秋季中心の合宿がメインとなっているが、夏休み期間中などの雨散期についても、ウエイトリフティング等の合宿誘致に努める。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・合宿チームの監督等のスタッフと密に情報交換を行い、受け入れ体制の構築を図る。</p> <p>・陸上大会等で営業活動を実施し、合宿地としての知名度向上を図る。</p> <p>・陸上競技の投てき種目のチームや、ラグビー・ウエイトリフティングなど、冬春季以外の合宿実施可能な競技についても営業活動を積極的に実施し、合宿誘致件数の増加に努める。</p> <p>・備品整備した機器についても有効活用し、施設の環境整備に努め、施設利用者のサービス向上に努める。</p>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
32,899	32,899	26,319	6,580	



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額はなく適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		国頭村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① やんばるの自然環境保全事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(2)-ア		
担当部署名	環境保全課	事業実施(予定)年度	令和4年度～令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	自然環境・生物多様性の保全・継承 Ⅲ-10-(1)		
事業内容	本業務は、村内の観光施設及び村営林道において、希少種や外来生物の分布状況を把握し、緊急性の高いエリアを選定して外来植物の防除業務を実施することを目的とする。また、村営林道については、密猟対策として村営林道12路線を定期的にパトロールを実施した。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額					36,285
		(b) 予算現額					19,800
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	▲16,485
		(d) 繰越額					0
	A. 計(b+d)		0	0	0	0	19,800
	B. 執行済額						19,800
	うち交付金充当額						15,840
	次年度繰越額						0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%
予算の状況の説明		当初予算からの減額については、環境省、沖縄県も同様な業務を行っており、3者の業務範囲をより明確にするための業務エリアの調整を行ったことから、当初予定していた業務エリアが縮小されたことに伴い、予算の減額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	村内観光施設における外来種防除対策の実施 N=2か所	目標	()	()	()	(2か所)	
		実績				2か所	
	村営林道における林道パトロール及び外来植物等の分布調査の実施 N=12本	目標	()	()	()	(12本)	
		実績				12本	
達成状況説明	・村内観光施設における外来種防除については、「国頭村森林公園」及び「比地大滝遊歩道」で事業を実施することができた。 ・村営林道の監視及び外来植物の分布調査については、予定通り12路線で実施することができ、そのうちの「チヌフク林道」においては、路線の一部において外来種防除を行うことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	村内観光施設の外来植物減少率 A=50%以上	目標	()	()	()	(50%以上)	()
		実績				96%	
	村営林道における無許可で設置されたトラップ N=0件	目標	()	()	()	(0件)	()
		実績				0件	
	進捗状況説明	・村内観光施設の外来植物の減少率は、目標の50%を大きく上回る2施設平均で96%を達成することができた。 ・昆虫トラップについては、12路線中6路線で15個の昆虫トラップを確認し、すべて回収・処分を行い、トラップは0件となり目標を達成することができた。					

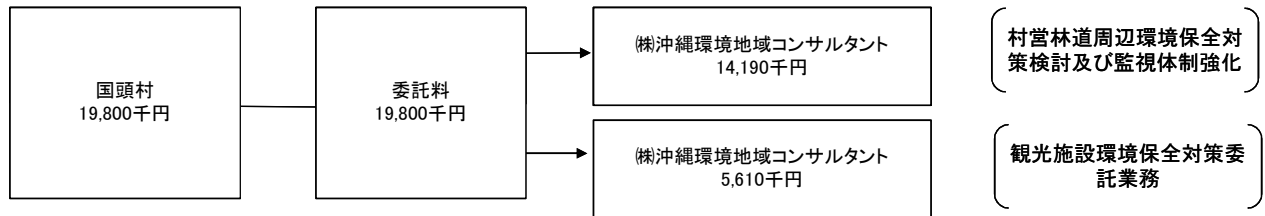
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設においては、人の往来による外来植物を拡散させる可能性があり、外来植物を拡散しないよう取組が必要である。 ・林道周辺における希少種や外来植物の分布調査は把握することができたが、今後モニタリングによる希少種や外来植物の増減等について、継続的な調査が必要である。また、盗掘等に関する抑止力の取組も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設については、年度ごとに計画的な外来種防除を実施し、外来植物の確実な低減につなげる取組を行う。 ・村営林道においては、継続的な監視/パトロールの実施、モニタリング調査、年度ごとに計画的な外来種防除を実施し、外来植物の確実な低減につなげる取組を行う。

今後の取組み方針

・観光施設については、人の往来により外来植物の種子を拡散させないために、靴や被服についている種子を取り除くための除去マットの設置や、エアブラシの設置を検討する。
 ・村営林道においては、密猟対策として、監視カメラと警告板をセットとして数ヶ所設置し、監視体制の強化及び密猟の抑止力強化につなげるための取組を検討する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
19,800	19,800	15,840	3,960	0



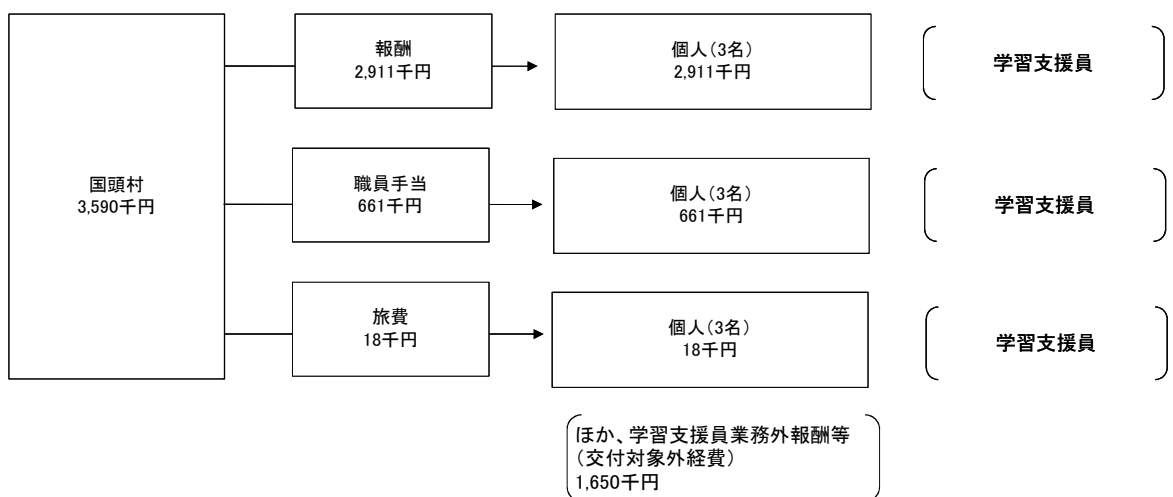
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額はなく適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		国頭村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	学習支援員配置事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア		
担当部署名	教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒の学力向上を図る為、学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		(a) 当初予算額	3,528	5,292	5,059		5,561
		(b) 予算現額	2,983	5,572	3,209		5,112
		(c) 増減額(b-a)	▲545	280	▲1,850	0	▲449
		(d) 繰越額	0	0	0		0
		A. 計(b+d)	2,983	5,572	3,209	0	5,112
		B. 執行済額	2,916	4,929	2,356		3,590
		うち交付金充当額	2,333	3,942	1,884		2,871
		次年度繰越額	0	0	0		0
		執行率(%) (B/A)	97.8%	88.5%	73.4%	#DIV/0!	70.2%
予算の状況の説明	活用見込みであった経費が実績により減額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	学習支援員の配置 ・小学校 2名(各校1名) ・中学校 1名	目標	(小学校2名(各校1名)) (中学校1名)	(小学校2名(各校1名))	()	()	(小学校2名(各校1名)) (中学校1名)
		実績	小学校2名(各校1名) 中学校1名	小学校2名(各校1名)			小学校2名(各校1名) 中学校1名
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
達成状況説明	・学習支援員を3名(辺土名小学校1名、奥間小学校1名、国頭中学校1名)を配置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率の差 小学校 国語:-1.73ポイント以内	目標	()	(-1.5ポイント以内)	()	(-1.73)	()
		実績		-0.7ポイント		-11.6	-1.3
	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率の差 小学校 算数:-2.39ポイント以内	目標	()	(-3.1ポイント以内)	()	(-2.39)	()
		実績		-0.9ポイント		-12	-4.3
	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率の差 小学校 理科:-2.0ポイント以内	目標	()	(-1.8ポイント以内)	()	(-2.00)	()
		実績		—		—	
	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率の差 中学校 社会:-0.50ポイント以内	目標	()	()	()	(-0.50)	()
		実績				—	
	進捗状況説明	・沖縄県学力到達度調査国語の平均正答率において沖縄県平均との差が小学校5・6年生「-11.6ポイント」、中学校1・2年生「-1.3ポイント」と目標は未達成となった。 ・沖縄県学力到達度調査算数・数学の平均正答率において沖縄県平均との差が小学校5・6年生「-12ポイント」、中学校1・2年生「-4.3ポイント」と目標は未達成となった。 ・沖縄県学力到達度調査小中学校理科及び中学校社会については、令和4年10月25日付、沖縄県教育委員会 教義第928号により調査対象外となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の授業の中で基礎基本の定着が弱い児童生徒への指導支援ができた。 ・授業で個別に支援に入ることによってその時間の学習内容の振り返りはできるようになっていた。 ・系統性のある教科においては、これまでの既習事項が定着しておらず、到達度テストの結果にはつながらなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業者と支援員がさらなる連携を図り、指導支援に入ってほしい児童生徒の情報共有をしながら、学習支援にあたる。 ・支援を要する児童生徒が多い場合は、児童生徒相互をつないでいく必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・AIドリルを活用した個別最適化を図る指導支援。 ・全国学力・学習状況調査や前年度の県到達度テストの結果を分析し、それを踏まえた指導支援をする。 ・児童生徒個々の結果の落ち込みをもとにアプローチし、指導支援していく。 ・指導支援すべき児童生徒が多い場合は、子どもたちの力もかりた支援をする。(子どもたち同士をつなぐ。学び合うような声かけ) 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,240	3,590	2,871	719	1,650



資金の流 れ、費目 の点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学習支援員の任用方法については、村の規則による採用及び必要な知識等を勘案したうえで選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不要額は事業費の29.8%であるが、雇用日数の実績減等によるものであり事業内容、予算規模については適正な規模であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

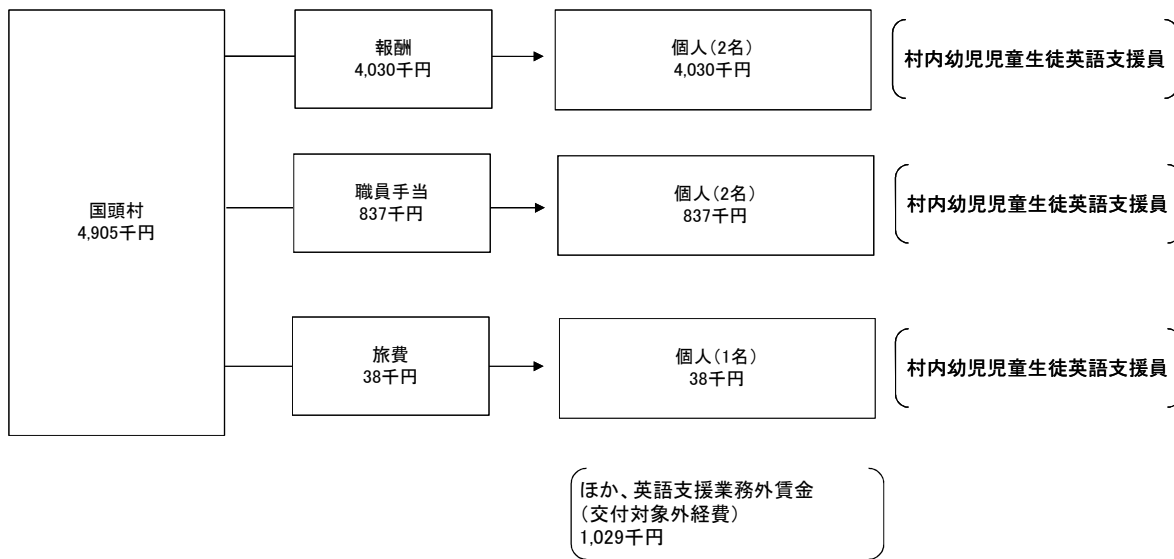
市町村名		国頭村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	村内幼児児童生徒英語支援員配置事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア		
担当部署名	教育課	事業実施(予定)年度	平成25~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	幼児児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図る為、英語支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		5,292	7,812	6,916		8,023
			2,419	8,072	7,000		4,718
			▲2,873	260	84	0	▲3,305
			0	0	0		0
			2,419	8,072	7,000	0	4,718
	B. 執行済額		2,275	7,630	6,925		3,876
	うち交付金充当額		1,819	6,104	5,540		3,100
	次年度繰越額		0	0	0		0
	執行率(%) (B/A)		94.0%	94.5%	98.9%	#DIV/0!	82.2%
予算の状況の説明		・活用見込みであった経費が実績により減額となった。 ・一部、職員の勤務実績不良及び自己都合退職等により当該職員に係った費用を補助対象外とみなしたため、不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	英語支援員の配置 ・認定こども園・小学校・中学校 2名 ・中学校(専属) 1名		目標 (2名 1名)	(2名 1名)	()	(2名 1名)	
			実績 2名 1名	2名 1名		1名 1名	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		・認定こども園・小学校・中学校巡回する英語支援員を1名配置した。 ・中学校専属の英語支援員を1名配置した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	認定こども園・小学校英検jr取得率 ブロンズ:42%以上		目標 ()	(32%以上)	()	(42%以上)	()
			実績	49%		27%	
	認定こども園・小学校英検jr取得率 シルバー:35%以上		目標 ()	(52%以上)	()	(35%以上)	()
			実績	21%		41%	
	認定こども園・小学校英検jr取得率 ゴールド:26%以上		目標 ()	(15%以上)	()	(26%以上)	()
			実績	5%		5%	
	中学校2年生到達度調査(英語)平均正答率 沖縄県との差:-0.9ポイント以内		目標 ()	(2.3ポイント)	()	(-0.9ポイント)	()
			実績	-2.9ポイント		-12.2ポイント	
	進捗状況説明		・英検jr取得率ブロンズ42%以上の目標に対して、実績が27%と目標は未達成となった。 ・英検jr取得率シルバー35%以上の目標に対して、実績が41%と目標は達成となった。 ・英検jr取得率ゴールド26%以上の目標に対して、実績が5%と目標は未達成となった。 ・中学2年生沖縄県学力到達度調査(英語)の平均正答率において沖縄県平均との差-0.9ポイント以内の目標に対して、実績が-12.2ポイントと目標は未達成となった。				

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の授業の中で基礎基本の定着が弱い児童生徒への指導支援ができた。 ・授業で個別に支援に入ることその時間の学習内容の振り返りはできるようになっていた。 ・児童生徒が主体的に取り組むよう、英語での対話を意識して取り組めていた。児童生徒もこの時間が楽しそうで、英会話というコミュニケーションはよく取れていた。 ・積み重ねが必要なライティングに関して基礎基本の定着が弱いことが、目標未達成の要因と考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語での対話、コミュニケーションを図った活動から、ライティングにつながるような働きかけが必要。 ・授業者と支援員がさらなる連携を図り、指導支援に入ってほしい児童生徒の情報共有をしながら、学習支援にあたる。 ・支援を要する児童生徒が多い場合は、児童生徒相互をつないでいく必要がある。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・AIDルルを活用した個別最適化を図る指導支援。 ・前年度の県到達度テストの結果を分析し、それを踏まえた指導支援をする。 ・児童生徒個々の結果の落ち込みをもとにアプローチし、指導支援していく。 ・指導支援すべき児童生徒が多い場合は、子どもたちの力もかりた支援をする。(子どもたち同士をつなぐ。学び合うような声かけ) ・英語での対話からライティングへとつなげる働きかけ。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,905	3,876	3,100	776	1,029



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○英語支援員の任用方法については、村の規則による採用及び必要な知識等を勘案したうえで選定しており、妥当であったと考えている。 ○不要額は事業費の17.8%であるが、雇用日数の実績減等によるものであり事業内容、予算規模については適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	国頭村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③ 学習支援教室委託事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ		
担当部署名	教育課	事業実施 (予定)年度	平成28～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	公平な教育機会の確保と学習環境の充実 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	中学3年生の高校進学への支援を行うため、学習支援教室(無料塾)を設置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,144	4,060	4,828		5,874
		(b) 予算現額	3,144	4,060	4,631		5,866
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲197	0	▲8
		(d) 繰越額	0	0	0		0
	A. 計(b+d)		3,144	4,060	4,631	0	5,866
	B. 執行済額		3,130	4,060	4,631		5,529
	うち交付金充当額		2,504	3,854	4,631		4,422
	次年度繰越額		0	0	0		0
	執行率(%) (B/A)		99.6%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	94.3%
予算の状況の説明		減額の8千円については、入札残等による減額。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	対象: 中学3年生 ・開室期間: 7月下旬～翌年3月・週3回・1回3時間 ・科目: 国語・数学・理科・社会・英語		目標 (週3回 1回2時間)	(週3回 1回3時間)	()	(週3回 1回3時間)	
			実績 週3回 1回2時間	週3回 1回3時間		週3回 1回3時間	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・学習支援教室を設置し、国語・数学・理科・社会・英語の高校受験科目について7月から翌年3月上旬の間に年間300コマ(おおよそ1日3時間、週3日)の受験対策を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	受講生の高校受験合格率:100%		目標 ()	(100%)	()	(100%)	()
			実績	100%		100%	
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	・受講生28名全員が高校受験にて合格した。						

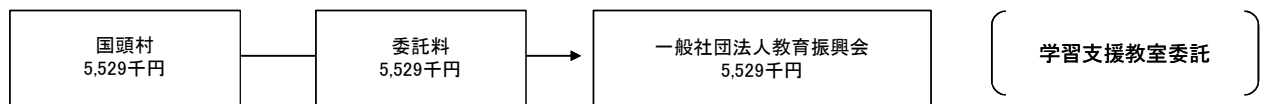
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒ひとりひとりの学習の定着に差がみられる。 ・個々に応じた学習方法をとれるよう対策が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生が増加傾向にあるため、きめ細やかな学習支援を行うため講師増員の必要がある。

今後の取り組み方針

・学習支援教室の講師、教育委員会との情報交換を定期的を実施し、生徒にあった学習方法を模索していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,529	5,529	4,422	1,107	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の6%以内であり適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		国頭村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	多自然川づくり事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(7)-イ	
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24~令和4年度		沖縄振興基本方針該当箇所	計画的な生活基盤の整備	
事業内容	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度(繰越)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	—	108,226	70,000	8,000	13,000
		(b)予算現額	—	108,226	70,000	8,952	12,984
		(c)増減額(b-a)	—	0	0	952	▲16
		(d)繰越額	次年度繰越額	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		次年度繰越額	108,226	70,000	8,952	12,984
	B. 執行済額		76,700	108,107	60,072	8,952	12,983
	うち交付金充当額		61,360	86,485	48,057	7,162	10,386
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		#VALUE!	99.9%	85.8%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		当初設計から舗装面積の減による16千円の減となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	河川工事の実施(L=121m)		目標 (河川工事の実施(L=85m))	(河川工事の実施(L=178m))	(河川工事の実施(L=87m))	(河川工事の実施(L=121m))	
			実績 河川工事の実施 L=97m	河川工事の実施 L=57m	河川工事の実施 L=87m	河川工事の実施 L=121m	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・河川工事についてL=121mの整備を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(5年度)
	河川工事整備率 100%(1,011m/全体延長L=1,011m)		目標 ()	(76% 912m)	(100% 890m)	(100% 1,011m)	()
			実績	66% 803m	100% 890m	100% 1,011m	
	【R5成果目標】整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人		目標 ()	()	()	()	(720人)
			実績				
	【R5成果目標】整備した河川での環境学習参加者数20人		目標 ()	()	()	()	(20人)
			実績				
進捗状況説明	・河川整備について、目標通り達成できた。						

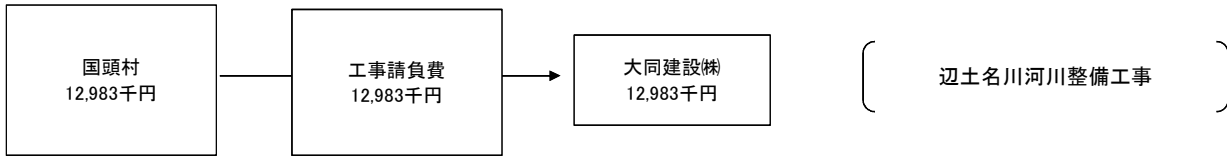
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・早期の工事発注に努めたことにより、工程どおり工事を進められたことで目標値が達成できた。	・河川整備が全て完了したことから、整備した河川沿いのスペースや散策路を有効活用し、商店街の観光誘客イベント及び環境学習の取り組みの充実を図る。

今後の取り組み方針

・今後は、整備が全て完了したことから商店街の観光誘客イベントの開催及び学校関係への周知を行いイベント及び環境学習参加者の増加に繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
12,983	12,983	10,386	2,597	



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事施工事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額はなく適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	